

記事

[Megumi Kakechi](#) · 2020年12月17日 1m read

選択性の数値について

これは[InterSystems FAQ サイト](#)の記事です。

選択性（または Selectivity）の数値とは、カラムに対するユニークデータの割合を示す数値です。

例） Person テーブルの個別値である PID カラム、住所のうち都道府県名が入る Pref カラム

Pref カラムの選択性 = 約 2%

PID カラム（ユニーク属性のカラム）の選択性 = 1

InterSystems製品のクエリオプティマイザは、クエリ実行経路（プラン）とインデックスの選択を決定するため、エクステントサイズ（テーブル内のレコード数）と選択性の数値を使用します。

詳細は下記ドキュメントページをご参照ください。

[テーブルの最適化【IRIS】](#)

[テーブルの最適化](#)

なお、選択性の数値は、テーブル単位に計算するまで設定されていません。

計算方法については関連トピックをご参照ください。

[【関連情報】](#)（コミュニティ/FAQトピックをリンクしています）

- [クエリをチューニングするにはどのような方法がありますか？](#)
- [SQLパフォーマンスリソース・リンク集（関連するトピックをまとめてご紹介しています）](#)
- [外れ値について](#)
- [知っておくと便利なクエリパフォーマンスのコツ - Tune Table](#)

[#SQL](#) [#パフォーマンス](#) [#ヒントとコツ](#) [#Caché](#) [#Ensemble](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E9%81%B8%E6%8A%9E%E6%80%A7%E3%81%AE%E6%95%B0%E5%80%A4%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6>